

令和4年度 事業報告書

令和4年度は、心豊かに文化芸術を楽しんでもらうため、子どもを対象とした事業の充実、気軽に文化芸術に触れてもらう場の提供、及び文化芸術活動の支援に重点を置き、文化芸術に親しむきっかけづくり、市民の文化芸術活動の支援、情報発信事業の推進の3つの柱で下記のとおり事業を展開した。

第1 文化芸術に親しむきっかけづくり

(1) 子ども文化芸術事業 (決算額 11,409千円)

参加者・来場者：6,761人

子どもたちが小学校等で文化芸術を鑑賞・体験できる機会を創出し、文化芸術の魅力を伝える事業に取り組んだ。

① 子ども文化芸術魅力発見事業 (決算額 6,395千円)

小学校へのアーティスト派遣「アーティストとであう」参加者：63校 / 5,970人

小学校に国内外で活躍しているアーティストを派遣し、音楽、ダンス、演劇、日本伝統文化、国際文化の体験型プログラムを実施した。

【音楽】

内 容： 室内楽アンサンブル、マリンバ

アーティスト： 九州交響楽団、CiLi

実施校： 15校

実施学年： 小学1年～6年生

参加者： 1,585人

【ダンス】

内 容： オリジナルダンス作り

アーティスト： 真崎千佳、山本泰輔 他

実施校： 4校

実施学年： 小学3・4年生、特別支援学級

参加者： 301人

【演劇】

内 容： 演劇創作の過程を通じたコミュニケーションワークショップ

アーティスト： 有門正太郎

実施校： 3校

実施学年： 小学3年～6年生

参加者： 205人

【日本伝統文化】

内 容： 能、狂言、箏、筑前琵琶

アーティスト： 福岡市能楽協議会、箏曲鶯絃会、尾方蝶嘉ほか

実施校： 17校

実施学年： 小学1年～6年生

参加者： 1,566人

【国際文化】

内 容： 韓国伝統芸能、馬頭琴、西アフリカ伝統芸能

アーティスト： 韓ソリ、ドラム馬頭琴楽団、劇団アフリカ
実施校： 24校
実施学年： 小学1年～6年生、特別支援学級
参加者： 2,428人

② 親子芸術体験事業（決算額 5,014千円）

参加者・来場者：791人

子どもが家族とともに文化芸術にふれる機会の充実を図るため、子どもも大人も一緒に楽しむことができるノンバーバルのフィジカルコメディ舞台の公演と関連企画としてパントマイムのワークショップを市民芸術祭オープニングイベントとして開催した。

ア 公演

- 公演名 フィジカルコメディ舞台「ケッチスケッチ」
- 開催日 令和4年9月25日（日）／11:30～と15:00～の2回公演
- 会場 東市民センターなみきホール
- 出演者 ケッチ（元が～まるちよば）
- 入場料 S席 3,500円 A席 2,500円 高校生以下1,000円引き
- 来場者 736人（2回合計）

イ 関連ワークショップ

- 開催日 令和4年10月29日（土）、30日（日）
- 会場 パピオビールーム（10/29）、福岡市美術館アートスタジオ（10/30）
- 講師 ケッチ（元が～まるちよば）
- 対象 小学生クラス、大人クラス（各日1回ずつ実施）
- 参加者 55人（小学生25名、大人30名）
- 参加料 小学生クラス 1,500円 大人クラス 2,500円

(2) 伝統芸能事業（決算額 892千円）

参加者・来場者：333人

伝統文化・伝承文化に対する幅広い層の市民の関心と理解を深める機会を創出し、その継承・普及につなげるため、日本舞踊の公演を共催するとともに、子どもを対象としたワークショップを実施した。

① 公演

日本舞踊に落語やクラシック音楽、デジタルアート等を加えた舞踏劇の公演を実施した。

- 公演名 舞踏劇「御伽の介絵巻其の壱～桃太郎編～」
- 開催日 令和4年12月11日（日）
- 会場 南市民センター
- 出演 梅川壱ノ介（舞踏家）、三遊亭鳳志（落語家）
松坂奏輔（ヴァイオリン）、林紋子（ピアノ）
- 入場料 S席 3,500円 A席 2,500円 子ども（高校生まで） 1,000円
- 来場者 313人

② 関連ワークショップ

小学生を対象とした日本舞踊のワークショップを実施し、その成果を公演前の舞台上で披露した。

- 開催日 令和4年12月3日（土）、4日（日）
- 会場 塩原音楽・演劇練習場
- 講師 梅川壱ノ介
- 対象 小学生
- 参加者 20人
- 参加料 1,500円

(3) 社会参加促進事業（決算額 1,571千円）

参加者：250人

年齢や障がいの有無、性別や国籍に関わらず、誰もが文化芸術に触れ、親しむ機会を創出し、文化芸術活動を通じて社会の新しい関係性を築くため、アートを介した対話に係るワークショップ等を実施した。

① 対話型鑑賞体験ワークショップ

医療・福祉関係者を対象として、「対話型鑑賞」の手法を紹介し、実践するとともに、医療・福祉の現場で活用するためのワークショップを実施した。

- 開催日 令和4年11月20日（日）
- 会場 福岡アジア美術館
- 講師 伊達隆洋（京都芸術大学アートプロデュース学科准教授・学科長）
- 対象 医療・福祉分野で働く方
- 参加料 3,000円
- 参加者 31人

② ケアの現場の「アートを介した対話」事例紹介&座談会

高齢者福祉施設などで行う美術鑑賞や創作活動など三つの事例を紹介しながら、ケアの現場における「アート」の可能性を探る座談会をオンラインで実施した。

- 開催日 令和5年1月29日（日）
- 会場 オンライン開催
- 登壇者 加藤 イオ（株式会社ベネッセスタイルケアスペースデザイン部）
香月 真（シティデイサービス長住／作業療法士）
藤 洋介（香椎丘リハビリテーション病院 地域医療連携室 室長）
中込 潤（九州産業大学美術館 学芸室長）
- 対象 ケアとアートに興味のある方
- 参加料 無料
- 参加者 28人

③ 特別支援学校アウトリーチ

(公財)アクロス福岡とともに、マリンバのアーティストを特別支援学校に派遣して、鑑賞・体験のプログラムを実施するとともに、NPO法人等と連携して、メディアアートプログラムの検討を行った。

■アーティスト CiLi

■実施校 2校(南福岡特別支援学校、屋形原特別支援学校)

■参加者 191人

(4) 博多旧市街にぎわい創出事業 (決算額 2,381千円)

福岡市を代表する歴史的エリア「博多旧市街」において、市と連携して、市民及び来訪者が気軽に文化芸術に触れることができる場を創出するため、ライブパフォーマンスを実施した。

① 博多旧市街プロジェクト連携事業

まちなかをアートで彩る市の「FaN Week」の期間中に、屋外アートとライトアップの会場の一つである東長寺においてダンスや生け花等のパフォーマンスを実施した。

ア ブレイキン・ショーケース

■開催日 令和4年9月30日(金) 19:00～

■出演者 九州男児新鮮組

イ いけばなライブパフォーマンス

■開催日 令和4年10月1日(土) 18:00～

■出演者 IKENOBOYS

ウ 偽闘-GITOH-

■開催日 令和4年10月1日(土) 19:00～

■出演者 んまつーぽス

エ サーカスパフォーマンス「SINKA」

■開催日 令和4年10月3日(月) 19:00～

■出演者 高取優耶、深河あきら

② アートカフェ事業

実施回数：10回、来場者：1,107人

福岡アジア美術館と連携し、同館アートカフェにおいて、アジアをはじめとする様々な国の音楽・舞踊や九州交響楽団のミニコンサート等を実施した。

また、よかトピア財団が実施する、留学生を対象とした事業の実施や、「ステップアップ助成プログラム」に採択された活動のPRの場として活用した。

ア ドラン馬頭琴楽団アンサンブルコンサート

■開催日 令和4年5月29日(日)

■出演者 ドラン馬頭琴楽団

■来場者 75人

イ 九響@アートカフェVol.7～初夏のコンサート

■開催日 令和4年6月25日（土）

■出演者 九州交響楽団

■来場者 77人

ウ 東南アジア紀行～インドネシアとタイの伝統舞踊と音楽～

■開催日 令和4年7月10日（日）

■出演者 在日インドネシア留学生協会福岡支部、グワクウン・ワラポーン

■来場者 150人

エ 「エモーショナル・アジア展」連携企画「秋のアートカフェ～ストリングシリーズ～」【第1弾】里地帰 和胡の夕べ～長月のコンサート～

■開催日 令和4年9月16日（金）

■出演者 里地帰(和胡)、富永隆治(ピアノ)

■来場者 129人

オ 「エモーショナル・アジア展」連携企画「秋のアートカフェ～ストリングシリーズ～」【第2弾】KAWAKAMI ソロギターライブ

■開催日 令和4年10月29日（土）

■出演者 KAWAKAMI（ギター）、山下佳恵（ヴァイオリン）

■来場者 90人

カ 「エモーショナル・アジア展」連携企画「秋のアートカフェ～ストリングシリーズ～」【第3弾】九響@アートカフェVol.8～弦楽アンサンブルコンサート～

■開催日 令和4年11月25日（金）

■出演者 九州交響楽団

■来場者 100人

キ アジア美術館×よかトピア「文化交流イベント」（受託事業）

■開催日 令和4年12月18日（日）

■出演者 HaRuRu（アイリッシュハーブ）、九州華僑華人文学芸術家連合会メンバー（中国伝統舞踊）、豊前唐原神楽社中

■来場者 85人

ク アオザイ試着+記念撮影会（ステップアップ助成金採択者PRイベント）

■開催日 令和4年12月24日（土）

■主催者 是本信高（写真家）

■来場者 34人

ケ 迎春企画「黒龍舞術団～春節パフォーマンス～」

- 開催日 令和5年1月22日（日）
- 出演者 黒龍舞術団
- 来場者 240人

コ 九響@アートカフェ～春待つコンサート～

- 開催日 令和5年2月5日（日）
- 出演者 九州交響楽団
- 来場者 127人

(5) その他（協力事業）

きびるフェス

NPO法人が主体となり、市内の音楽・演劇練習場の指定管理者とともに、舞台芸術に関わるすべての人へ向けてワークショップや演劇公演を実施する「きびるフェス」について広報及び運営の一部を支援した。

第2 市民の文化芸術活動の支援

(1) 第59回福岡市民芸術祭（決算額 6,247千円）

参加行事数：114行事

市民の文化芸術の発表の場、身近に文化芸術に触れあう場として、音楽・舞台芸術・美術・伝統芸能など幅広い文化芸術団体が参加する総合的な文化芸術の祭典である市民芸術祭を開催した。

① 参加行事

10月から12月にかけて市内の施設で実施される活動を参加行事として認定し、一体的な広報や市施設使用料減免等の支援を行った。

■開催期間：令和4年10月1日（土）～12月31日（土）

■参加行事：114行事

（内訳）音楽44、美術20、演劇10、舞踊9、伝統芸能7、文芸6、生活文化2、メディア芸術3、その他13

② オープニングイベント **再掲**

市民芸術祭をより多くの市民に周知し、文化芸術を通じた「にぎわい」の創出や魅力の向上を図るため、誰もが楽しめるノンバーバルのフィジカルコメディ舞台の公演を実施した。

※親子芸術体験事業 参照

③ メイン事業

美術と演劇を組み合わせた福岡ならではのオリジナル演劇作品を創作し、公募で集まった参加者が市民劇として上演し、関連企画として街中のパブリックアートを巡るワークショップを実施した。

ア 公演

- 公演名 <市民劇>HAKATA EXPO2222 -空想演劇博覧会-
- 開催日 令和4年11月12日(土)、13日(日)両日ともに13時、16時開演
- 会場 ぽんプラザホール
- 構成演出 有門正太郎
- 脚本 田村さえ、石田聖也
- 出演者 公募で集まった市民13人
- 入場料 1,000円
- 来場者 144人

イ 関連ワークショップ

- 企画名 博多まちあるきパブリックアートツアー「てくてくさんぽ」
- 開催日 令和4年8月11日(木・祝) 15:00～、8月28日(日) 10:00～、15:00～
- 会場 福岡アジア美術館あじびホール(8/11)
福岡アジア美術館アートカフェ・博多リバレイン会議室(8/28)
- 講師 有門正太郎
- アシスタント 田村さえ、石田聖也、門司智美
- 参加者 29人(8/11 15:00～12人、8/28 10:00～9人、15:00～8人)
- 参加料 1,000円

(2) FFACステップアップ助成プログラム(決算額 4,144千円)

福岡市において文化芸術活動を行い、今後の活躍が期待される団体・個人に対して、活動経費の一部を助成するとともに、専門アドバイザーによる助言・フォローアップや広報等の支援を行った。

① 助成概要

- 助成件数 13件(応募件数18件、採択件数13件)
- 分野内訳 「文化芸術普及活動助成」3件
「発展活動助成」9件
「文化芸術を通じた社会課題に係る取組助成(社会課題取組助成)」1件
- 助成額 3,340千円

② 助成の種類

【文化芸術普及活動助成】

市民に文化芸術の鑑賞の機会を提供する活動に対して助成

【発展活動助成】

申請者自らがさらなるステップアップを図る活動、または文化芸術分野の人材育成・環境整備に寄与する活動に対して助成

【文化芸術を通じた社会課題に係る取組助成(社会課題取組助成)】

団体自らのステップアップにとどまらず、文化芸術を通して様々な社会課題の解決に取り組むために、継続的・段階的な実施を必要とする活動に対して、最長2年間継続助成

③ 報告会

事業実施報告及び専門アドバイザーからのフィードバックや、参加者間での意見交換を実施した。

- 開催日 令和5年3月24日（金）
- 会場 アジア美術館会議室
- 参加者 採択事業の団体・個人、専門アドバイザー

第3 情報発信事業の推進

(1) 文化芸術資源収集活用事業（決算額 8,036千円 ※美術品等購入費）

福岡市民の貴重な財産となる美術品、博物館資料等を、福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館と共働して収集し、展示を通して市民が多様な文化芸術資料を身近に鑑賞する機会を創出した。

- 購入件数及び総額： 40件 8,036,200円
- 売却件数及び総額： 10件 7,440,000円

福岡市美術館

- 購入：絵画「日課観音図」 計 1点（計 6,600,000円）
- 売却：写真「イルフ逃亡」 計 3点（計1,940,000円）

福岡市博物館

- 購入：絵画「黒田長成書簡」ほか 計 39点（計 1,436,200円）
- 売却：古文書「三毛門文書」 計 7点（計 5,500,000円）

(2) 文化芸術広報事業（決算額 3,276千円）

1. 文化情報発信事業

①財団機関誌「wa」の発行

財団事業をわかりやすく伝えるとともに、人・事・場所等の紹介を通して福岡の文化芸術ファンを増やし、福岡の文化芸術の情報発信力向上の一翼を担った。

- 発行状況：年3回（5月、9月、1月）発行 20,000部

◎wa89・春号

[Pick up Artist] 9cue(キュー)氏（造形作家）

[掲載内容]

“市民芸術祭オープニングイベント” フィジカルコメディ「ケッチスケッチ」

「アートトリップ」歌劇ザ・レビューシアター

若手アーティスト&クリエイター育成プログラム開催レポート

◎wa90・夏号

[Pick up Artist] さゆり（アニメーション作家）

[掲載内容]

市民劇「HAKAT AEXPO 2222」空想演劇博覧会

FFACステップアップ助成プログラム アーツカウンシル福岡

「Fukuoka Art Next」アートフェアアジア福岡、FaN Week in博多旧市街

◎wa91・冬号

[Pick up Artist] 清水 由美子氏 (3代目おきあげ作家)

[掲載内容]

FFAC社会参加促進事業、ケアの現場の「アートを介した対話」事例紹介&座談会
ステップアップ助成プログラム採択事業

「Artist Café Fukuoka」ギャラリー、コミュニティスペース、カフェ

②ホームページ及び文化情報コーナー等による情報発信

財団ホームページ及び「WEBアトリエ」(文化情報サイト)並びに「文化情報コーナーアトリエ」を運営し、情報収集と発信を行った。

また、個人に向けたメールマガジンの定期的な配信やSNSを活用したタイムリーな情報発信を行った。

[財団ホームページ] 訪問数: 49,671件 (4,139件/月)

[WEBアトリエ] 訪問数: 10,013件 (834件/月)

[メルマガ配信] 毎週木曜日発信 登録者数: 1,910人

(3) 文化芸術普及事業 (グッズ・叢書・三館支援) (決算額 15,667千円)

福岡市美術館及び福岡アジア美術館、福岡市博物館の収蔵品をモチーフとしたオリジナルミュージアムグッズや三館収蔵品等に関する図録・叢書等の製作、販売を行い、三館の魅力や所蔵の文化芸術資料等のPR・広報を推進した。

1. 主な売上

- ・金印グッズ (レプリカ、スタンプ、ストラップ ほか) 計 11,410点 7,036,247円
- ・刀剣グッズ (福岡市博物館オリジナル多機能ペン ほか)

計 7,156点 3,912,783円

2. 令和4年度 新規販売グッズおよび売上

- ・福岡市博物館オリジナルハンドタオル (3種色変更、新デザイン1種追加)
- ・福岡市博物館オリジナルクッキー (新デザイン1種追加)
- ・福岡アジア美術館 A4クリアファイル ヒンドウの神様関連図
- ・福岡おさんぽバッグ (仕様変更)

計 3,572点 1,958,058円

(4) 賛助会「wa+club (わたすクラブ)」事業 (決算額 886千円)

市民の芸術鑑賞機会の増大と福岡市の更なる文化芸術活動の振興を目的に、財団事業をはじめとする文化芸術のサポーターとして加入促進を図るとともに、会員特典の充実を図り、会の魅力向上に努めた。

1. 会員数及び会費

- ・個人会員: 280人 2,000円 (全期)、1,500円 (半期)
- ・法人会員及び地域会員: 7団体 30,000円/1口

2. 会員特典

- ・財団事業チケット先行販売
- ・福岡市美術館、福岡アジア美術館及び福岡市博物館の常設展並びに九州産業大学美術館の無料観覧
- ・財団及び福岡市美術館、福岡アジア美術館、福岡市博物館の機関誌や文化芸術情報等の定期送付（年4回）
- ・福岡市総合図書館映像ホール「シネラ」の入場料割引
- ・市外の美術館など提携施設の入場料割引等
- ・提携団体チケット優待（博多座、九州交響楽団、テレQ等）
- ・会員限定メールマガジンの配信

(5) 福岡音楽都市協議会（決算額 3,940千円）

福岡を日本・アジアを代表する音楽都市にすることを目標に2021年4月に設立された福岡音楽都市協議会（MCCF）について、財団は事務局としてWebメディア「OTOJIRO」を通じて、福岡の音楽関連情報の発信を行うとともに、音楽を通じた街の賑わい創出に取り組んだ。